

## ニカラグア定期報告（2021年2月）

### 【要旨】

内政・外交面では、ニカラグア政府は、ロシア製及びインド製の新型コロナウイルスワクチンの緊急使用許可を承認した。その後、ロシア製ワクチン（スプートニクV）が到着した。米国等による制裁の対象者保護を目的とした消費者保護法の改正を行った。保健省発表による新型コロナウイルス感染発生からのニカラグアの累計感染者数は、5,176名、累計死者数は174名である（3月2日時点）。一方で、市民監視団体は感染疑い者累計13,140名及び累計死亡者数2,976名（2月24日時点）と発表している。経済面では、ニカラグア政府は米州開発銀行（IDB）から自然災害対策支援を、中米経済統合銀行（BCIE）から新型コロナウイルス対策、ワクチン購入資金、電力整備に関する支援を受けた。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### （1）ウクライナによるニカラグアへの経済制裁

2日、ウクライナ議会は2014年にロシアに併合されたクリミアにニカラグア政府が名誉総領事を任命したことに対し、制裁を決定した。

##### （2）ロシア製ワクチン（スプートニクV）の緊急使用許可承認

3日、ニカラグア政府は、保健省（MINSА）を通じて、COVID-19パンデミックに立ち向かうため、ロシア製ワクチンであるスプートニクVの緊急使用許可を承認した。

##### （3）米国等による制裁の対象者保護を目的とした消費者保護法の改正

3日、ニカラグア国会において消費者保護法の改正法案が可決された。

##### （4）インド製ワクチン（COVISHIELD）の緊急使用許可承認

4日、ニカラグア政府は、保健省（MINSА）を通じて、COVID-19パンデミックに立ち向かうため、インド製ワクチンであるCOVISHIELDの緊急使用許可を承認した。

##### （5）UNFPAによるMINSАへの医療物資供与

5日、マリア・エレナUNFPA（国連人口基金）当地代表は、保健省（MINSА）に対して、マスクなどの10万米ドル相当の医療物資を供与した。

(6) カリブ地域における生物圏保護に係る法案とコロンビアの反応

1月28日、ニカラグア国会は、「ニカラグアカリブ地域における生物圏保護の宣言と定義に係る法案 (ley que declara y define reserva de biosfera del caribe nicaraguense)」を承認した。その後、コロンビア外務省は16日付プレスリリースにて、同法案に強く抗議した。

(7) ロシア製ワクチン（スプートニクV）の到着

23日の夜、ロシアからの援助としてロシア製ワクチン（スプートニクV）がニカラグアに到着した。

(8) 中国・CELACの農業に係るバーチャル閣僚会議

24日、ニカラグア政府は、持ち回り議長のメキシコがアレンジした第2回中国とCELACの農業に係るバーチャル閣僚会合(II Foro Ministerial China-CELAC sobre Agricultura)に出席した。

(9) 市民監視団体の発表概要

26日、市民監視団体（「Observatorio Ciudadano COVID-19 Nicaragua」）は、2月18日～2月24日の期間に関する週間レポートを発表した。

ア 2月18日～2月24日の期間に全国で185件の感染及び感染疑いが報告され、累計13,140名（うちマナグア県4,962名）となった。

イ 2月18日～2月24日の期間にコロナウイルスの感染で亡くなった疑いで死亡した人は6名報告された。2月24日までの累計死者数は2,976名となった。

ウ 2月24日までに882名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また115名の死亡が報告された。

(10) 保健省（MINSA）の週間レポート

3月2日、当国保健省は3月2日時点の国内の感染状況について週間レポートを発表したところ、概要以下のとおり。

ア 2月23日から3月2日までの間に、保健省は44名のCOVID-19陽性及びおそらく陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また36名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計5,176名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。（累計死者数は174名）また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日（2日）までに、4,958名のニカラグア人が回復した。

（11）M&R Consultores 社による世論調査結果

ア 調査方法等

調査期間：2021年1月16～24日

調査対象：全国16歳以上の男女1,700名

調査方法：電子機器を用いた形での訪問面接式

信頼度数：95%

イ 調査結果

（ア）サイバー犯罪特別法に対する評価

評価している 54.1%

評価していない 11.6%

分からない・無回答 30.2%

（イ）外国から支援を受けるNGO等への規制法に対する評価

評価している 37.6%

評価していない 9.5%

分からない・無回答 52.9%

（ウ）平和のための独立・主権・自立の国民権利保護法に対する評価

評価している 57.5%

評価していない 6.4%

分からない・無回答 36.1%

(エ)異なる意見や対立に対して政府とどのように解決すべきか

政府とその他のセクターで対話を行うべき 95.9%

トランケなど対立することが必要 2.9%

分からない・無回答 1.2%

(オ)オルテガ大統領が2021年1月18日に団結・対話・コンセンサスの重要性を説いたことに対して

○貧困対応のためにより強靱な統一が必要である

同意 93.4%

同意せず 6.6%

○2021年11月の大統領選挙後に、対話のプロセスを行い、労働者やプライベートセクターと話し合うべきだ

同意 85.6%

同意せず 14.4%

(カ)トランケ（道路封鎖）を行い、人々の仕事の邪魔をし、経済に悪影響を与えることは、サンディニスタ政権に対抗するためには仕方がないことである

同意または無回答 14.4%

同意せず 85.6%

(キ)サンディニスタ政権に対抗するために重要なことであるので、人々が失業してもトランケを再び実施するべきだ

同意または無回答 10.9%

同意せず 89.1%

(ク)トランケは、良い考えである

同意 8.1%

同意せず 90.7%

分からない・無回答 1.2%

(ケ)2018年のデモやトランケは、当国の経済や発展のためにどう働いたか

経済や発展に良い影響が出た 5.1%

経済や発展に大きな被害が出た 91.0%

(コ)支持政党

FSLN 51.5%

なし 45.2%

野党 3.3%

野党の内訳:

憲政自由党 (PLC) 1.7%

市民同盟 (Alianza Civica) 0.2%

自由のための市民たち (C×L) 0.2%

革新民主主義連合 (UNAMOS) 0.1%

PLI 0.1%

その他 0.5%

(サ)支持政党の推移

	2018年	2019年	2020年	2021年1月
FSLN	28.9%	38.9%	53.2%	51.5%
野党	5.3%	5.9%	9.8%	3.3%
なし	65.8%	55.2%	37.0%	45.2%

(シ)野党に対する評価

良い 12.4%

普通 19.6%

悪い 60.9%

分からない・無回答 6.9%

(ス)過去14年間でニカラグアは発展・前進したか

発展・前進した 82.2%

変化なし 5.5%

後退した 11.5%

分からない・無回答 0.8%

(セ)ニカラグア政府の評価

良い 91.9%

悪い 7.5%

(ソ) SINAPRED の評価

非常に良い・良い	90.2%
非常に悪い・悪い	6.5%
分からない・無回答	3.2%

(タ) COVID-19 対応に対する MINSA の評価

非常に良い・良い	89.2%
非常に悪い・悪い	10.8%

(チ) オルテガ大統領に対する評価

良い	68.9%
悪い	12.4%
どちらでもない	17.6%
分からない・無回答	1.1%

(ツ) オルテガ大統領に対する期待

	2018年9月	2019年9月	2020年9月	2021年1月
期待する	48.8%	53.2%	70.8%	75.9%
期待しない	47.6%	44.5%	28.3%	22.9%
分からない	3.6%	2.3%	0.9%	1.1%

(テ) 歴代の大統領のなかで良い働きをしたのか誰か

ダニエル・オルテガ（現在）	28.1%
ビオレタ・チャモロ（1990年～1996年）	18.2%
ダニエル・オルテガ（1980年～1989年）	17.4%
エンリケ・ボラニョス（2002年～2006年）	12.8%
アルノルド・アレマン（1997年～2001年）	12.0%
アナスタシオ・ソモサ（1970年～1979年）	11.5%

## 2 経済

### (1) BCIE による計1億米ドルのワクチン購入支援

8日、中米経済統合銀行（BCIE）理事会は、「対新型コロナウイルス緊急対応及び経済再生緊急対策プログラム」の枠組みのもと、SICA 8ヶ国に対して COVID-19 ワクチンの購入及び適用のため4億米ドルの追加支援を行う旨決定した。既に BCIE は4億米ドルの支援を客年9月に発表しているため、BCIE は SICA 8ヶ国に対して合計8億米ドルのワクチン購入支援を行う。

(2) アコスタ財務・公債大臣による経済成長率予測

15日、アコスタ財務・公債大臣は、TVの取材にて、本年のニカラグアの経済成長率は2.5%になるとの見通しを述べた。プラス成長の要因として、輸出・郷土送金・対外直接投資の増加を挙げた。

(3) BCIEによる当地主要銀行を通じた中小企業支援実績

中米経済統合銀行（BCIE）は、2020年、パンデミックの影響を受けたニカラグアの中小企業に対する当地主要銀行を通じた37.9百万米ドルの貸付によって240の中小企業に裨益し、6449人の直接雇用の保証に貢献したと発表した。

(4) IDBによる自然災害対策支援

22日、米州開発銀行（IDB）は、ETA及びIOTAで被災した中米3か国（ニカラグア、ホンジュラス、グアテマラ）に対して、自然災害対応及び予防としてこれから2年間で最大16億米ドルの資金提供を行う計画を発表した。

(5) BCIEによる電力整備支援

19日、中米経済統合銀行（BCIE）は、ニカラグア政府と持続可能な電力及びその普及に向けて、1.43億米ドルの借款を行うことで合意した。

(6) 台湾のINTAとの共同による農業プロジェクト

22日、ハイメ当地台湾大使は、クラウディア・カルデナス・ニカラグア農牧技術研究所（INTA）共同代表とともに、「米・フリホールの生産向上のための調査及び革新技術移転プロジェクト」を締結した。

(7) BCIEによる新型コロナウイルス対策資金供与

23日、中米経済統合銀行（BCIE）は、SICA8ヶ国（ニカラグア、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、コスタリカ、パナマ、ベリーズ、ドミニカ共和国）に各50万米ドルを新型コロナウイルス対策として無償供与した。

<主要経済指標>

	2018年	2019年	2020年		
			12月	2021年 1月	2021年 2月
インル率（対前年同月）	3.9%	6.1%	未発表	未発表	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲2,312.4	▲1,655.6	▲197.0	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,516.9	2,696.8	225.7	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,829.4	4,352.4	422.6	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,501.2	1,682.4	190.9	156.1	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,261.1	2,397.4	3,211.9	3,332.8	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）